

No. 133

令和8年8月

／ こんにちは ／



豊前市議会です



第102回全国市議会議長会定期総会（令和8年5月27日東京国際フォーラムにて）

CONTENTS 目次

6月定例会（6/8～6/24）主な内容

議案の概要・特別委員会の報告	2P
令和8年6月定例会 議案審議結果	3P
一般質問	4～9P
トピックス・編集後記	10P

議会へのご意見をお寄せください

発行 / 豊前市議会
豊前市大字吉木955
TEL 82-8137（直通）

ホームページ/
<https://www.city.buzen.lg.jp>



議案の概要

第3回定例会

令和8年第3回定例会は、6月8日から6月24日までの17日間の会期で開催されました。

本定例会初日に、市長より、条例案件5件、補正予算3件の合計8件が提出されました。各委員会で慎重に審査した結果、原案どおり可決・承認されました。

なお、議案第33号、議案第35号については、反対討論がありました。

最終日には、市長より、議案1件が追加提案されました。総務委員会で審査され、原案どおり可決されました。



《令和8年度一般会計補正予算の概要》

令和8年第3回定例会「令和8年度一般会計補正予算(第1号)」の審査を行いました。

各常任委員会では、執行部に質問や指摘などを行い、慎重に審査しました。

【議案第37号】 令和8年度豊前市一般会計補正予算(第1号)

国・県補助事業にかかる経費、その他特に措置する必要がある経費について、可決しました。

《主な事業》

◇豊前市水道事業会計補助金	1,166千円
◇総合交流促進施設整備事業	12,151千円
◇生成AIパイロット校事業	1,000千円
◇学校管理費(小学校)	5,276千円
◇学校給食費	16,216千円

企業誘致特別委員会の経過報告

第4回(6月24日開催)

執行部より、現在、市が取り組んでいる豊前市工場用地情報バンクの取組や発電所跡地・学校跡地への企業誘致活動、市内への就職・定住サポート対応等の報告を受け、委員より、優良用地の確保や商工会議所との情報共有、移住・定住に向けての住宅の充実、進出企業に対する奨励措置の更なる検討等について、意見が出されました。

企業誘致特別委員会 ◎…委員長 ○…副委員長
◎岡本清靖 ○平田精一・宇都宮正博・爪丸雄太
渡辺美智子・梅丸晃・秋成英人

文教厚生委員会の申し入れ事項

◎国民健康保険事業特別会計については、税の公平性を保つため、国民健康保険税の徴収強化を図り、収納率向上に努めること。

産業建設委員会の申し入れ事項

◎総合交流促進施設については、資産管理を徹底し、営業が継続できるよう努めること。

以上、申し入れました。

常任委員会・議会運営委員会の委員名簿

◎……委員長 ○……副委員長

総務委員会	◎郡司掛八千代○宇都宮正博・爪丸雄太・村上勝二・為藤直美・内丸伸一・秋成英人
文教厚生委員会	◎梅丸晃○為藤直美・渡辺美智子・増田泰造・村上勝二・内丸伸一・岡本清靖
産業建設委員会	◎秋成英人○梅丸晃・宇都宮正博・爪丸雄太・渡辺美智子・増田泰造・平田精一
議会運営委員会	◎為藤直美○秋成英人・爪丸雄太・増田泰造・梅丸晃・郡司掛八千代

令和8年6月定例会 議案審議結果

「○」… 賛成 「●」… 反対
「議長」… 議長職のため表決に参加しない

議案番号	議案等の名称	審議結果	宇都宮正博	爪丸雄太	渡辺美智子	増田泰造	梅丸晃	村上勝二	為藤直美	内丸伸一	秋成英人	郡司掛八千代	平田精一	岡本清靖	賛成	反対
議案第31号	豊前市議会議員及び豊前市長の選挙における選挙運動用自動車の使用及びポスターの作成の公営に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	11	0
議案第32号	豊前市放課後児童クラブ条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	11	0
議案第33号	豊前温泉天狗の湯の設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	議長	10	1
議案第34号	専決処分について(豊前市税条例の一部改正について)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	11	0
議案第35号	専決処分について(豊前市国民健康保険税条例の一部改正について)	承認	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	議長	10	1
議案第36号	専決処分について(令和8年度豊前市国民健康保険事業特別会計補正予算 第1号)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	11	0
議案第37号	令和8年度豊前市一般会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	11	0
議案第38号	令和8年度豊前市水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	11	0
議案第39号	工事請負契約の締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	11	0



議長
岡本 清靖



副議長
平田 精一

議会からのお知らせ

議事運営上

議長・副議長は、原則として一般質問を行いません。

一般質問

そこが聞きたい・なんとかしたい

『無会派』の一般質問

(爪丸雄太議員)

- ① SNSのトラブル対策
- ② 子ども主体のフリーマーケット



(宇都宮正博議員)

- ① 本市の暑熱対策
- ② ナフサ不足が行政運営に与える影響と対策
- ③ 史跡求菩提山を構成する建物を野生動物から守る取り組み



(村上勝二議員)

- ① 物価高、石油危機から市民の暮らしと命、営業をまもる緊急の対策
- ② 外国人受入れの現状と共生するための施策
- ③ 第三セクターの今と市の対応



(為藤直美議員)

- ① 子育て、保育、教育環境
- ② 空き校舎活用



(増田泰造議員)

- ① ナフサ価格高騰と供給不安が本市に及ぼす影響と対策
- ② PFAS（有機フッ素化合物）
- ③ RSウイルスワクチン高齢者接種費用助成



(渡辺美智子議員)

- ① 企業誘致戦略と若者に選ばれるまちづくり
- ② デジタル教科書導入に向けた対応と、紙とデジタルの適切な活用
- ③ 生成AI時代における子どもの判断力・情報活用能力の育成



(郡司掛八千代議員)

- ① 男女共同参画社会におけるジェンダーギャップ
- ② 小中学校の課題
- ③ 敬老祝金の見直し後の対策



市議会会議録はこちらから

豊前市議会

検索

QRコードから
一般質問の動画を
ご覧になれます。



※ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。
※文末の表記については、実際のやり取りとは異なり、「です・ます調」ではなく、「だ・である調」に統一しております。
詳細については、市のホームページに全文を掲載していますので、そちらをご覧ください。
また、議会事務局及び総務課に会議録を置いてありますので、お気軽にご覧ください。

子ども主体のフリーマーケットについて



爪丸 雄太

爪丸議員 「キッズフリーマーケット」は、売るのも買うのも子どもたちだけでいい、保護者の口出しは禁止されているのが特徴である。出店する子どもは自ら値段を決めて接客、計算を行い、来場する子どもはお小遣いの範囲内で交渉して本物の現金で買い物をする。これは社会的自立を促す「キャリア教育」や、主体的な「金融教育」の観点から高い効果が注目されている。豊前市のキャリア教育・金融教育の現状について伺う。

学校教育課長 小・中学校におけるキャリア教育は、全ての教育活動を通じて実施している。小学校では係・委員会活動を通じて働くことの意義の基礎を養い、中学校では職場体験活動や、様々な職業人と直接対話をする「夢授業」を実施して

いる。金融教育については、小学校では買い物の工夫や税金の仕組み、中学校では契約や消費者被害などについて、家庭科や社会科を中心として実施している。八屋中学校では、生徒が地元の自営業者にアドバイスをしながら商品開発を行い、体育館で販売する「八中マルシェ」という取組を実施している。

爪丸議員 教育の観点から見るキッズフリーマーケットについて、教育長の考えを伺う。

教育長 子どもたちに販売をするような場をつくり、体験させることは、キャリア教育・金融教育はもちろん、リサイクルやリユース、SDGsの観点からも貴重な経験になると思う。そういった活動に積極的に参加する子どもたちであってほしいと思っている。

爪丸議員 市のイベントの際にキッズフリーマーケットを同時開催してみたいかがか。

商工観光課長 キッズフリーマーケットは、商売の

面白さや金銭感覚を掴んだり、リユース意識やリサイクル意識、基本的なコミュニケーションを学べる教育イベントであると感じた。関係団体とつづけているイベントの中で、検討したいと考えている。場所の選定やルールの構築など課題はあるが、実現させ継続できるイベントとして考えていきたい。

爪丸議員 キッズフリーマーケット開催について、市長の考えを伺う。

市長 現代の子どもたちは、お金の大切さを実感しにくい環境にある。ゼロ金利時代において、資産をどう有効に活用していくかを学ぶ機会をつくっていくかなければならない。担当課の答弁どおり、イベント等に絡めて前向きに検討する。

爪丸議員 市のイベントだけでなく、民間でも開催されて市全体が盛り上がることを期待する。



本市の暑熱対策について



宇都宮 正博

宇都宮議員 今年の夏は、気象庁から記録的な高温が続く可能性が示され、熱中症による救急搬送や高齢者の孤立リスクが例年以上に高まることが予想される。高齢者、子ども、障がいのある方などをどう守るのか。

長寿支援課長 高齢者には民生委員の方々に訪問や声かけの際に熱中症予防チラシを活用してもらったり、介護事業所へは注意喚起を依頼している。

こども・健康課長 子どもは体温調節機能が未熟なため、大人が見守る必要がある。母子保健事業の中で周知に努めるとともに、保育園等へは厚生労働省などからの情報を随時共有している。

福祉課長 見守りが必要な方には、居宅訪問事業所等の関係機関と連携

し、啓発していきたい。
生活環境課長 クーリングシェルトーを設置し、熱中症特別警戒アラートが発表された時などに利用していただく。

学校教育課長 小・中学校では文部科学省の通知に基づき、定期的に暑さ指数を測るとともに、水分補給や休憩の設定など、安全に教育活動が行える環境を整えている。

宇都宮議員 暑熱リスクが高い独居高齢者などについては、夏限定の安否確認など、従来の枠組みを超えた支援が必要ではないか。

長寿支援課長 民生委員や地域包括支援センターによる声かけなどを通じて、取組を進めてまい

る。
宇都宮議員 クーリングシェルトーは現在、公共施設で2箇所、民間施設で11箇所が登録されている。公共施設を新たに指定し、取組を強化する考えはあるか。

し、啓発していきたい。新に5箇所の登録準備を進めている。他の施設についても声をかけていきたい。
宇都宮議員 避難所の暑熱対策について伺う。
総務課長 被災者が一定期間避難生活を送る指定避難所として学校体育館を指定しているが、小・中学校については、学校再編のためエアコン設置は取り組んでいない。防災倉庫に扇風機を動かせる発電機を常備している。
宇都宮議員 厳しい夏から市民の命を守るためには、最も弱い立場の方への支援の仕組みを構築し、組織横断的な取組体制が必要でないか。
市長 酷暑対策は、早急にしなければならない問題だと思っている。庁内をまとめながら、高齢者や子どもたちの命を守っていく対策を打てるよう検討していきたい。
宇都宮議員 国も省庁横断で動いている。暑熱対策という切り口で、今後の取組をお願いしたい。

外国人受入れの現状と共生するための施策について



村上 勝二

村上議員 3月議会の質問の中で、多文化共生推進条例という提案がなされたが、このことについて、どう考えているか、伺う。

国際共生推進室長 豊前市で総合計画、多文化共生の指針というものを既に定めているので、それをいま実行しているという状況である。現時点では、条例の制定は考えていない。

村上議員 条例化しているところの例としては、これまで取り組まれてきている男女共同参画、外国人住民、高齢者や障がい者に向けての各種の取組や、一つのコンセプトとなつて集約され、それに連動するかたちで組織再編が行われるなど、人的資源や予算面で充実が図られている。とりわけ外国籍市民相談窓口の開設、オンライン日本語教室の実施、やさしい日

本語の推進など、市役所及び市内の関連団体との連携により、充実が図られるなどの効果が確認されている。是非、いま進められている点が、充分と思われるのか、条例改正を進めると思われるのか、改めてお聞きしたい。

国際共生推進室長 条例が必要かという部分については、現時点である計画

又は指針に基づき、その実施を行つている。昨年12月の会議でも、多文化共生のまちづくりに関して、様々な方にご協力をいただいている。今後、外国人住民は増加する傾向が続くと思われるので、その状況に応じ、国や県の動向も注視しながら、市として対策をとっていきたくと考えている。

村上議員 自民党の外国人政策本部は、第2次提言を取りまとめたが、この提言の中には、外国人との「共生」という文言は一言もない、と報道されている。外国人との共生、生活者としての外国人への支援ということ、外国人受

入環境整備交付金について伺う。在留手続き、雇用、医療、福祉、出産、子育て、子どもの教育など、生活にかかわる適切な情報や相談場所にスムーズにアクセスできるように、多言語で対応するワンストップ窓口の整備を支援する交付金となっているが、豊前市は交付を受けているか。

国際共生推進室長 豊前市は、交付を受けていない。

現在は、多文化共生コーディネーターとしての地域おこし協力隊1名を配置しており、市役所の手続きや関係機関との連携を担当している。ご案内いただいた事業補助金を活用して、別に相談窓口を整備することは、現時点では考えていない。

村上議員 その点、市長どう考えられるか。

市長 窓口をつくる体制をとれるのか、ということがあるので、まず、外国人も豊前市民も、共存・共栄、相互理解を深めていけるような環境をつくるのが大切だと思つている。

子育て、保育、教育環境について



為藤 直美

為藤議員 保育園の環境について伺う。令和7年度に生まれたお子さんの数は72名と、令和に入り、最少となった。この出生数に対して、市内の保育園、幼稚園数では、ほとんどが定員割れではないか。この危機的状況における市立保育園の今後の考え方、展望、民間経営への影響はないか。考えを伺いたい。

子育て・教育支援調整官 公立の役割、病後児保育等を担っている。当面は、利用定員を見直す中でバランスを取りながら維持していきたい。

市長 千束保育園は残していきたく思っている。公立保育園の意義というものをさらに追求し、民間の園とのバランスをとっていきながら、共存・共栄できるような環境をつくってほしいと思う。

為藤議員 豊前中学校開校に伴い、三毛門小学校は吉富中学校が指定校となっている。この指定校にするということが、子どもたち、また地域にとつて大きな問題になっている。吉富町外一市組合立の負担金は幾らか。

学校教育課長 令和8年度予算で、4,578万8千円となっている。

為藤議員 保護者や生徒からは、指定校が吉富というところで、まずは友達と同じところに行きたいと思う子が多くいるのではないかと。豊前市に税金を払うのに、なぜ豊前市の新しいのに、なぜ豊前市の新しくできる中学校に行くのに届出がないのか。豊前市民として市に税を納め、市内に最新の統合の中学校が整備される中、年間4,578万円もの負担金を払う組合議会の問題について、いろんなところを巻き込んで、地域の声をしっかりと聞くことが必要と思われる。まずは組合議会のほうに提案していただきたい。

市長 首長同士の話し合いだけでできる問題ではないと思つている。双方に教育長がいるので、教育長も交えて、検討させていただきたい。

為藤議員 小学校の再編について、令和8年で9校の子どもたちを合わせるに978人、開校時には832人で、その2年後には600人台となっている。限りある予算の中で、この件について、考えを伺う。

市長 市の財政状況を鑑みながら、どういったかたちにするのが適当か、検討している段階である。豊前市の子どもたちには、豊前に生まれてよかった、また大人たちには、豊前に住んでみたいと、豊前で子どもを育ててみたいという環境の一つとして、この学校再編をしっかりとかたちを整えて、成功に向けて努めてみたい。

為藤議員 他の地区からも豊前の中学校に行きたいと思われるような中学校、そして小学校も、目指していければと思うので、今後もしよろしく願います。

P F A S (有機フッ素化合物)について



増田 泰造

問題になっている。そこで、本市における近年の水道水のPFA S検査実施状況と結果を伺う。

上下水道課長 豊前市では、令和3年度から毎年検査を行っており、いずれも基準値である1リットル当たり50ナノグラム以下であることを確認している。

増田議員 地下水と河川水の調査状況と結果を伺う。

生活環境課長 基準値が設定されている市内3箇所の専用水道については、令和8年度の水質検査の項目の中にPFA Sがあることを確認しており、検査が予定されている。市内の河川水については、福岡県が佐井川、岩岳川、中川、角田川でPFA Sの測定を実施している。令和6年度の水質検査で、いずれも基準値内の数値となっている。

増田議員 市民の方への検査結果の情報公開の有無について伺う。

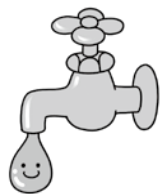
上下水道課長 開示の申請があれば該当する地区の水質検査結果を開示している。

生活環境課長 県と県内市町村が実施した河川や海洋などの水質測定結果を取りまとめて、県ホームページで公共用水域水質測定結果として公開している。

増田議員 PFA Sを含めた水に対する市長の所感と、市民への広い情報公開に関して考えを伺う。

市長 多くの市民が関心を持つていると思っている。水質検査計画書の中で、過去3年分の結果を掲載しているが、PFA SとしてPFOAについては、令和7年度までは任意での項目であったため、掲載はしていなかった。しかし、安心・安全と水道水の供給の観点からも、市のホームページに掲載を検討させてもらいたい。

増田議員 ぜひ、よろしくお願いする。



デジタル教科書導入に向けた対応と、紙とデジタルの適切な活用について



渡辺 美智子

渡辺議員 政府は、2030年度からデジタル教科書を正式な教科書として位置付ける方針を進めている。一方、全国の小学校長を対象に実施した調査で、小学校低学年において9割を超える校長が、紙のみ又は紙中心の教科書使用を希望したとの結果が示された。理由は、紙の教科書のほうが学習に集中しやすい、記憶に残りやすい、書く力の低下への懸念などがあげられた。また、早期にデジタル教科書の導入を進めた北欧諸国では、子どもの読解力や集中力への影響などが議論され、紙教材の重要性が再認識されている。現在、タブレット端末は、授業の中でどの程度活用されているのか。また、学年ごとの活用状況について伺う。

学校教育課長 授業で課

題などの配信に活用するClassroomや、デジタルドリルであるeライブラリ、中学校の英語においては、AIを使って会話のできるTerraTalkなど全ての学級で活用している。

渡辺議員 デジタル教材の活用について、市内の小・中学校の校長や教員にヒアリング調査を行ったことはあるか。

学校教育課長 教職員へのヒアリング、意見聴取を実施したことはない。

渡辺議員 低学年ほど紙の教科書を重視すべきとの現場の声がある。特に小学校1、2年生については、読む力、書く力、集中力を育てる重要な時期である。教育委員会として、低学年へのデジタル活用について見解を求める。

教育長 ICT教育が、少し急いで行われようとしてきた流れがある。あまりにも性急にデジタル化が進んでいる。低学年ほど、紙や具体物を大事にした教育を大事にしなければいけない。

て、使用時間や利用方法などルール等の基準を設けているか。

学校教育課長 児童・生徒向けにタブレット活用ルールを教育委員会が作成し、学校で指導している。加えて、タブレットを持ち帰ることもあるため、保護者用の活用マニュアルを作成し配布している。

渡辺議員 今後教科書は、「紙」「紙とデジタルのハイブリッド」、「完全デジタル」の3形態となるが、どのように導入していくのか。

教育長 学年の発達段階に応じて徐々にデジタルを増やす、そういう使い方が望ましいと思っている。

渡辺議員 紙がデジタルの二者択一ではなく、それぞれの良さを生かした教育こそが重要であると考えている。今後も国の方針だけでなく、海外の見直しの動きなど、学ぶべき点からは学び、豊前市の子どもたちにとって何が一番良いのかという視点を持っていたきたい。

男女共同参画社会におけるジェンダーギャップについて



郡司掛 八千代

長・課長職を女性職員がイメージできる職場づくりをどのように心掛けているのか、副市長に答弁をお願いする。

副市長 女性管理職は令和8年度25.6%くらいである。男女関係なく活躍するというのが平等の観点である。女性職員のキャリアアップや女性職員同士の関係性を大切に、全職員がやる気と積極性を持ち、協力し合うことが大事であると思っている。

郡司掛議員 女性が働きやすい環境、職場づくりをお願いする。行政職の場合、比較的働きやすい環境とは思うが、働き方とライフイベントの両立は問題である。職員研修を含め、どのようにジェンダーギャップを埋めていくのか、お尋ねする。

総務課長 豊前市役所では、技術職・専門職で男女比の偏りが顕著である。配置は固定観念ではなく、応募状況や試験結果、業務内容、職員の希望、知識、経験等を総合的に判断して、行っており、適正な配置と働きやすい環境の構築に努めている。

郡司掛議員 保育士や介護の職場では男性も増えている。男性・女性が働きやすい職場づくりをお願いする。行政において係

行い、啓発に努める。

郡司掛議員 職員の意識が一番大切であると思う。世界1位を16年守り続けている国、女性首相が活躍しているアイスランドのドキュメンタリー映画「女性の休日」を取り入れてみてはいかがか。日本でもいまある現状を危機と捉え、大学や政府は急速に対策を進めている。これより実質的なジェンダーギャップ解消を目指す動きが活発化しており、容易なことではないが、私たちも傍観者ではなく、現実を見据えていく必要があると思う。



一般質問

そこが聞きたい
なんとかしたい

『新世清友会』の一般質問



平田 精一



秋成 英人



内丸 伸一

- (秋成英人議員)
- ① 事業の見直し
 - ② 支出の削減
 - ③ ふるさと納税
 - ④ 学校再編
 - ⑤ スクールバス
 - (内丸伸一議員)
 - ⑥ 市民サービス
 - ⑦ 防災
 - ⑧ ネーミングライツ
 - ⑨ 九電及び公共施設の跡地利用



市議会会議録はこちらから

豊前市議会

検索

QRコードから
一般質問の動画を
ご覧になれます。



※ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。
※文末の表記については、実際のやり取りとは異なり、「です・ます調」ではなく、「だ・である調」に統一しております。
詳細については、市のホームページに全文を掲載していますので、そちらをご覧ください。
また、議会事務局及び総務課に会議録を置いておきますので、お気軽にご覧ください。

スクールバスについて

秋成議員 中学校のスクールバスについて、ホームページには、部活動の終了時刻を各部活で統一し、部活終了後1便計画するところがあるが、1便だけで大丈夫なのか。市の保有するバスを活用して対応するなど、弾力的に運用する考えはあるか。

学校教育課長 現在、1便で走らせるということで考えている。その他の対応としては、開校後、順次考えていきたい。

秋成議員 生徒や保護者の意見も聞いたうえで、より良い方向で調整していただきたい。中学校よりさらに運用が難しくなるのが小学校だと思う。1.7キロのピストン運行という案が出ているようだが、実際に歩く距離が1.7キロ以上になる児童が対象という認識でよいのか。距離の測り方は家から学校までの最短距離なのか、通学路になり得る道を安全に歩いた場合での距離なのか。

学校教育課長 実際に歩

く通学路を測った距離が1.7キロということで、現在検討している。

秋成議員 ちょうど対象かどうか境目になる御家庭にとつては、自分の子どもがスクールバスの対象となるか非常に気になると思うので、児童や保護者の立場になって、しっかりと内容を議論していただきたい。特に心配なのが、体力的な面から小学校低学年の子である。スクールバスの対象となるかどうか基準を決める際に、低学年の子に対する弾力的な運用をする考えがあるか。

学校教育課長 再編準備協議会の通学部会の中で、今後、検討したい。

秋成議員 出発時間も気になる。今までの小学校に通っていたとした場合の出発時間に、なるべく近づけるように調整していただきたい。また、安全対策の観点だが、スクールバスの欠席者などはアプリの導入で対応するということが、最終的に人間の

チエックが効くような運用

の仕方が要ると思う。執行部の考えをお尋ねする。

学校教育課長 通学部会の中で、より良い方向を探つていきたい。

秋成議員 以前の議会で、中型バスだけではなく、小型の車両も使いながらきめ細やかな運用を図れないかと質問した。現状をお尋ねする。

学校教育課長 実際に乗る子ども数を出しているところであり、通学部会で、安全面を配慮して適切な運行体制ができるように検討を進めたい。

秋成議員 スクールバスについては、運転手の確保等、課題も多いと思うが、様々な選択肢を考えながら、豊前市に一番合った方法を模索してもらいたい。行政の都合に合わせるのではなく、児童・生徒や保護者の事情に最大限寄り添いながら進めていただきたい。市長の考えをお尋ねする。

市長 保護者の方、子どもたちのことを考えながら取り組んでいきたい。

ネーミングライツについて

内丸議員 ネーミングライツは、公共施設に企業名やブランド名、愛称を付与することで、その対価として収入を得る仕組みである。豊前市では人口減少や施設の老朽化などにより、今後ますます財政負担が大きくなることが予想されている。その中で、税金だけに頼らない新たな財源確保策として、ネーミングライツは有効な手法の一つと考えるが、豊前市の見解を伺う。

財務課長 企業などから命名権料をいただき、維持管理費に充てられるので、財源確保策の手法の一つであると考えている。

内丸議員 導入を検討する場合、市民体育館や市民会館、各運動施設や各種公園などは対象となり得るのか。

生涯学習課長 市民体育館をはじめ、スポーツ施設については、ネーミングライツの対象となり得、広告効果を評価してくれる企業が見つかる可能性があると思っている。

内丸議員 近年、公共施設だけではなくバス停や公共交通へのネーミングライツ導入事例も見られる。市バス本体やバス停など、比較的小規模なものから始める方法について、どう考えているか。

交通政策室長 バス停ネーミングライツは、乗客のみならず地域住民や通行人への高い広告効果が期待できるとともに、運賃以外の安定した財源を確保できるメリットがある。標識等の変更に加え、手続き及びコストの面からも今後研究してみたい。

内丸議員 ネーミングライツの大きな魅力は、財源確保だけではなく、地元企業との連携強化にもあると考えている。地元企業への地域貢献の機会として活用する考えがあるのか伺う。

企業誘致・移住定住調整官 財源確保に大変良い取り組みだと思う。地元企業にもメリットがあるので、活用については、他自治体を参考にしながら、勉強したい。

い。

内丸議員 ネーミングライツは、大都市だけの制度ではなく、地方都市でも導入が進んでいる。まずは先進事例の調査や研究を進めていつていただきたい。市長、いかがか。

市長 個人的には、非常に面白い取組だと思っている。財源確保の手法の一つとして、使えるのではないかなと思う。成功事例も研究しながら、庁内で検討し、前向きに考えていきたい。

内丸議員 ネーミングライツは、単に施設の名前を変えることが目的ではない。人口減少社会の中で、税金だけに頼るのではなく、地域企業と行政が力を合わせて公共施設を支え、市民サービスの向上につなげていく新たな財源確保策である。地域企業と連携した身の丈に合った導入を行うことで、十分実現可能な施策であると考えている。将来の選択肢として前向きな調査・研究を進めていくことを要望する。

全国市議会議長会表彰



秋成英人議員（10年表彰） 郡司掛八千代議員（10年表彰） 岡本清靖議長（正副議長4年表彰）

岡本清靖議長（正副議長4年表彰）、郡司掛八千代議員（議員10年表彰）・秋成英人議員（議員10年表彰）が、令和8年5月27日に東京で開催された第102回全国市議会議長会定期総会において、市政振興に尽くされた功績が認められ、表彰されました。

追悼 ジョージ・アリヨシ元ハワイ州知事

元ハワイ州知事のジョージ・リョーイチ・アリヨシ氏（豊前市特別名誉市民）が、ご逝去されました（享年100歳）。アリヨシ氏は、日系人初の米州知事として活躍されるとともに、本市との深い絆を築く架け橋として長きにわたりご尽力されました。父・良蔵氏は豊前市の出身であり、自らのルーツを大切にしながら「謙虚さ」と「感謝」の精神を貫かれました。その功績と人柄は、ハワイと豊前の市民の心に深く刻まれています。ここに謹んで哀悼の意を表し、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

議会事務局からのお知らせ

政治家の寄附の禁止（公職選挙法第199条の2第1項、第2項）
豊前市議会は、初盆参り等につきましては、法令を遵守いたします。

編集後記

皆様こんにちは！今年の夏も「酷暑日」が続く、と言われてますが、いかがお過ごしでしょうか？

6月定例会では、市民生活に直結する課題や地域の将来を見据えた施策について、活発な議論が行われました。議会として、市民の皆様の声を大切にしながら、安全・安心して暮らせる豊前市の実現に向け、引き続き、全力で取り組んでまいります。

増田 泰造

次回の定例市議会は
9月です

議会を傍聴しましょう

市議会の様子を知る最もよい方法です。
みなさんの傍聴をお待ちしています。
また、本会議については、インターネット中継
をしております。

- 編集 編集委員会
委員長：梅丸晃
副委員長：渡辺美智子
委員：爪丸雄太 増田泰造
村上勝二

- 印刷 築上印刷有限会社